

長岡市中心市街地活性化基本計画（素案）に関するパブリックコメントの実施結果

1 概要

実施期間 平成 30 年 11 月 5 日（月）～平成 30 年 11 月 26 日（月）

閲覧方法 窓口（アオーレ長岡、中心市街地整備室）及び市ホームページ

意見状況 提出者数 6 人

提出意見 25 件

2 寄せられたご意見と市の考え

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
1	P13	イトーヨーカドー丸大長岡店が閉店した場合、そこに市民センターを移転するとともに、空いた旧丸大ビルも「大手通表町東地区市街地再開発事業」に入れることを提案したい。	いずれも民間所有の土地・建物であるため、状況を注視していきます。
2	P17	参考指標に「学生限定のバスサービス利用者数」が挙げられているが、バス停の位置やバス路線等は示されていない。バス利用の推進を掲げるのであれば、バス停の位置関係、想定する路線の目的地と出発地の関係を整理して、事業の実施場所と結びつけるような展開を望む。	本計画では、バス利用そのものの推進を目標としている訳ではなく、若者のまちなかでの活動を表す数値として一定の相関関係にあるため、参考として指標にしています。 なお、市の政策としてはバス等公共交通の利用を促進しており、「ノーマイカーデー」等の事業を実施しています。
3	P24	長岡造形大学以外は郊外にあり、市外県外から来た学生は通学・下宿するにあたって、不便な思いをしていると思う。 大学等の「都心回帰」は他県の地方都市でもあるようなので、一部の学部だけでも「駅前キャンパス」として中心市街地に移転してもらうことも視野に入れてはどうか。	「NaDeC BASE」や「まちなかキャンパス長岡」では、3大学1高専の授業や講座の一部を実施しています。 NaDeC構想の実現と併せ、いただいたご意見を参考に各校とより一層連携を図っていきます。
4	P33	中心市街地の回遊を促すため、アンケート調査は中高生向けや 20 歳以上の若者向け、高齢者向けなどに分けて、それぞれの層がどのようなことを中心市街地に求めているのかを把握するべきである。中高生には進路などを聞くと流出を抑えるための問題も見つかると思う。	計画や事業を評価する上で、アンケート調査は今後も必要であると考えておりますので、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
5	P34	アンケートは年代別、性別ごとに均等にとっているのですが、層別して詳細にデータを分析したほうが良い。	アンケート調査結果は様々な方法で分析しておりますが、ここでは本計画を策定する上での現状把握の一つとして、トータルの数値のみ抜粋して使用しています。
6	P35	「若者が集う魅力づくり」とほぼ同等の割合となっている「おしゃれで魅力的な店舗・飲食店」に関する記述がないことに違和感がある。また「長岡開府 400 年記念事業」などを推進しているが「歴史・文化施設の充実」を重要と考える割合は最も低い。これは本計画が推進する「若者による起業」のヒントだと思えるので、上部の枠内に記載があると良い。	本計画の課題と捉えた部分を特筆したのですが、ご意見にある通り、7割を超える人が重要と考えた「おしゃれで魅力的な店舗・飲食店」も上部枠内の記述に追加いたします。
7	P37	「住まう場所として魅力を高める」と記述されているが、住む予定が無い人はコスト面が支配的な理由ではないか。魅力の改善というよりも、コスト vs 便益の考えになると思うので、文面は削除されたほうが良い。	コストや便益は住むことを考えた時に生じる問題ですので、まず住む場所として考えていただくために魅力を高めたいと考えています。
8	P38	トータルで 100%になるグラフなので 1つのグラフで示せる。高校を除いた意図が高等教育機関を対象にしたと思われるので、より高度人材の長岡希望の比率を知ることが有効だと思う。過去と比較して県内、長岡の希望が高まったのか示すとよいのではないかな。	アンケート調査結果は様々な方法で分析しておりますが、ここでは本計画を策定する上での現状把握の一つとして「就職先」を抜粋して使用しています。
9	P39	棒グラフの順序が pp. 38 では数値順になっているが、pp. 39 はランダム順になっているので統一したほうが良い。	左右を比較するため固定した順序としています。
10	P45	ここでの目標値は p. 23～p. 28 の実績値からどのように算出されるのか。第 2 期計画 p. 72 を見ると、アオーレ長岡の利用者数から、窓口分と視察分を除くなど、算出過程がわかりやすいものとなっている。本計画でもそのような表記にしていきたい。	P45 のグラフ下にある調査対象欄に算出根拠を明記いたします。

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
11	P45	<p>「長岡開府 400 年記念事業」とは約 14 万人分（目標値と最新値の差分）を埋める想定ができるほど、大きな事業なのか。そうであれば、そうした取り組みこそ計画書の中にいくつかの事業例を示した上で、平成 31 年度以降も継続していく必要があると考える。</p>	<p>「長岡開府 400 年記念事業」は平成 30 年に限定したものであるため、継続という形はとりませんが、開府 400 年をきっかけに新たに取り組んだ市民活動や人材育成事業などは今後も継続していきたいと考えています。</p>
12	P46	<p>「アオーレ長岡利用者を対象に半年アンケート（平成 24 年度実施）…」とはどのようなものか。わかりやすい表現への修正をお願いしたい。</p>	<p>オープンから半年後（平成 24 年 9 月～10 月）を機に、アオーレ長岡を利用した方に対して実施したアンケートです。わかりやすい表現に修正いたします。</p>
13	P46	<p>H24 と H29 のデータは同じフォーマットの方が見やすいと思います</p>	<p>異なるアンケート調査から関係する項目を抜粋して比較しているためフォーマットは合わせられませんが、本文の表現を修正いたします。</p>
14	P49	<p>世代間の交流を図る施設として公衆浴場（銭湯）を検討してはどうか。市内にはスーパー銭湯などがあるが、いずれも郊外で自家用車無しにはアクセスしづらい。</p> <p>駅近郊には浴室に難のある古い賃貸物件も多いため、その不便さを和らげる事ができる。また老若男女問わず需要があるため、市民間の交流も図ることができるかもしれない。</p> <p>アオーレなどにより、利用する場所としての仕組みはかなり強化されたと思う。ここで生活に密接に関わる施設を置くことで、暮らす場所としての性格を強める事ができると考える。</p>	<p>アンケート調査でも温浴施設を希望する回答をいただいています。中心市街地において民間事業者の参入を促進できるように、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
15	P51	<p>各大学の学生課に、学生へ向けて市街地中心部のアパートなどの物件情報を提供してもらおうと良い。学生課から紹介・斡旋される物件は大学の近郊が大半で、駅前に住む考えは無かったと思う。市街地は駐車場が付かない物件が多いが、車を持っていない学生にとってはあまりデメリットにはならない。市街地に住みバスで通うライフスタイルを提案し、情報発信する事で若者が生活する場としてアピールできると考える。</p>	<p>不動産会社や各大学、高専、専門学校などと連携を図り、ご意見にあるような取り組みができないか検討させていただきます。</p>

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
16	P62 P75	<p>目標指標を従前計画より大幅に変更しており、中活事業の効果計測について熟考されたと察する。特に、歩行者通行量に関して、大手通交差点より西側の8地点を新たに指標評価対象に設定していることから、目指している将来像もよくわかった。</p> <p>賑わい創出のためには、歩行者の通行量だけでなく、滞在時間を増加させることも重要だと考える。よって、市が管理する駐車場の車の「平均駐車時間」を新たに目標指標に設定することを提案する。また、歩行者通行量の結果と平均駐車時間を併せて分析することで、来街者の回遊行動の推定等も可能になると考える。</p>	<p>来街者の滞在時間については、第2期計画において参考指標として推移を見ておりましたが、上限料金のないアオーレ長岡駐車場については、手続きだけ済ませて出庫する方が多いと思われ、平均滞在時間は34.4分（H29）となっています。</p> <p>一方、大手口、表町、大手通地下駐車場については滞在時間も長く、平均129.4分と目標値の120分を上回ったことから、第3期計画では目標値としては定めませんが、継続的に状況を把握し、分析していきたいと考えています。</p>
17	P69 P71	<p>目標指標3における「30代以下」とはどのような位置づけか。「30代以下」を「人口減少に歯止めをかけるための年代」と考えるのだとすれば、その人たちを中心市街地に呼び込むことは限られたパイの奪い合いにならないか。</p> <p>また、p.71のトレンド予測でも良いが、人口ピラミッドを単純に5年分ずらしたときに、平成35年に30代以下として残る人はどのくらいいるのか。この値がどの程度なのかによって、トレンド予測の考え方が変わるように思う。</p> <p>また、細かいことだが、平成30年に36歳で入居した方は、5年後には41歳となっています。毎年の年齢別人口だけで見ると、そうした人は計測外となってしまいますが、よいのか。</p>	<p>長岡市では、総合戦略における「若者」を10～39歳と定めて目標を掲げているため、本計画においても39歳以下を「若者」としています。若者のエネルギーをまちづくりに活かすため、39歳以下の人口を目標値といたしました。</p> <p>単純に5年後の30代以下（0～5歳を除く）を算出すると1,450人程度ですが、動態としては、12歳以上が増加傾向にあります。推計の方法はいろいろとありますが、他自治体の状況や国との協議などを経て、今の推計値を使用しています。</p> <p>入居時年齢なども検討いたしました。過去のデータがないこともあり、計画終了時の状況をいかに数値化して目標を定めるかという中でこのような目標指標といたしました。</p>
18	P72	<p>（ア）や（ウ）の事業効果の算出過程で、中心市街区域内の平均世帯人員（おそらく戸建でもマンションも混ざった値）の1.9人を用いることに違和感がある。具体的に供給するマンションの形式が決まっているならば、（エ）の算出過程のような具体的なケースを前提とした方が、より明確かと思う。</p>	<p>直近3棟のマンション入居時世帯人員も平均1.9人ですが、区域全体の状況として現在の表記をしていました。年齢割合と同様に直近3棟のマンション入居時世帯人員の方が分かりやすいため修正いたします。</p> <p>また、供給されるマンションの間取りなど具体的な内容は定まっていないため、現在の算出方法としています。</p>

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
19	P89	<p>非積雪地域からの移住者や雪道での運転が不慣れな方でも、不自由なく生活できる街作りが重要。雪かきが不要なマンションは人気が高いことから、このような高層住宅の供給と、日用品の買い物ができる店舗誘致に力を入れるべき。</p>	<p>市街地再開発事業や優良建築物等整備事業などを推進し、民間事業者の参画促進を図っていきます。</p>
20	P98	<p>冬は天候の悪い日が多く、路面には除雪しきれない雪が残ったり、消雪水で水浸しになったりして徒歩・自転車での通行が困難になる。既存のアーケードや地下通路を延長・連続化して、大雨や吹雪の日でも快適に歩けるようにしてほしい。散歩が楽しめる散策コースでもあれば、冬場は運動不足になりがちな市民の健康増進にも寄与すると思う。</p>	<p>アーケードは各商店街などが設置、管理しておりますので、延長や連続化も視野には入れながら、まずは既存のものをしっかりと維持していけるよう、協議、検討を続けていきます。</p>
21	P99	<p>近年まで今朝白に「勤労青少年ホーム」という施設があり、安価に料理・英会話・書道・花道など受講できる「若者が集う交流の場」であった。まちなかキャンパス等での復活を検討すべき。</p>	<p>勤労青少年ホームで実施されていた事業については、見直した上で中央公民館事業として引き継がれました。</p> <p>なお、ご意見にある「若者が集う交流の場」については、大変重要であると考えておりますので、大手通坂之上町地区の再開発事業などで検討を続けていきます。</p>
22	P100	<p>デッキ整備後は、駅から大手通り・アオーレへのアクセス性・安全性・快適性が向上した。東口通りの南側歩道へも延長して、高校生や中学生が安全に通学できるよう、そして東口の開発・利便性向上に寄与するよう検討して頂きたい。また、東口南階段へも上りエスカレータの設置検討をお願いしたい。</p>	<p>いただいたご意見を今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>
23	P100	<p>郊外に住む市民からも、公共交通を利用して中心市街地に来てもらえるような政策が重要。</p> <p>しかし現状では、来街者の7割がマイカー利用とのことなので、当面は数時間無料もしくは格安で利用できる立体駐車場の増設が必要だと思う。そして、車を降りてからも雨や雪などで濡れずに行動できるよう、屋根付き通路も欲しい。</p>	<p>ご意見にあるとおり、公共交通の利便性向上と併せ、施設に見合った駐車場整備も重要だと考えています。</p> <p>大手通坂之上町地区市街地再開発事業では、立体駐車場を整備し、再開発ビルまで屋内通路でつなぐ予定です。</p>

No.	該当箇所	ご意見・提案内容（要旨）	市の考え
24	P120	<p>長岡市立地適正化計画における都市機能誘導の方針との関係をもう少し詳しく記載した方が良い。立地適正化計画 p. 56 を見ると、中心市街地・シビックコア地区の都市機能には、「維持」を目指すものが多くある。立地適正化計画 p. 65 の立地機能の分布図と、本計画の中心市街地を重ねると、中心市街地が担うべき全市的な役割が見えてくるのではないか。</p>	<p>下記の内容を追記いたします。</p> <p>中心市街地では、商業だけではなく、行政をはじめ、交通、医療・福祉、文化・交流、学習・教育など多様な機能を提供する「まちなか型公共サービス」を展開しております。引き続き、立地適正化計画の誘導施策である大手通坂之上町地区での市街地再開発事業やまちなか建物更新等支援事業をはじめ、既存ストックを活用したりノベーション支援等に取り組むこととしています。</p> <p>このことにより、中越地域全体を牽引する都心地区として広域かつ高度な都市機能の集積を進めていきます。</p>
25	P128	<p>長岡駅周辺は首都圏まで1時間半で行ける“抜群の立地”であり、“ポテンシャルの高いエリア”だが、たまに新幹線も運転見合わせとなる時がある。長岡駅から出る東京方面の路線バスは1日3往復しかないため、新幹線の代替としては機能せず、毎時運行の池袋線も使える新潟や燕三条に比べ不利な状況にある。新幹線が不通となった場合は振替のバスを運行してもらおうか、池袋線も長岡駅東口経由で運行してもらえるよう要望する必要がある。その際は東バイパスにおける渋滞多発交差点の立体化や越路橋通りの改良、中沢 IC～駅東口間の「公共車両優先システム」導入も必要になってくると思う。</p>	<p>いただいたご意見を今後のまちづくりの参考にさせていただきます。</p>